

9/30
至福

火災感知器 不備140カ所

伊方原発で不適切設置

四国電

四国電力伊方原発3号機(愛媛県伊方町)で

約140カ所の火災感知器が消防法施行規則で定められている適切な場所に設置されていなかったことが28日、同社への取材で分かりました。同社は「近くに複数の感知器があ

り、安全に問題はなかった」としています。規則では、火災感知器は空調設備などの吹き出し口から1・5メートル以上離れて設置する必要があります。四国電によると、昨年7～9月に原子力規制委員会が行った検査で1カ所規定を満たしていない

と指摘を受けました。その後の同社の調査で、3号機の原子炉建屋と原子炉補助建屋で同様の不備が約140カ所で見つかりました。今月14日までに全ての場所で移設が完了しましたが、周辺の建屋についても調査しています。